四万十市

洪水・土砂 ハザードマップ
中村地区

防災情報の入手方法を確認しましょう

テレビ、ラジオ
●高知放送（RKC） 1197kHz ●NHK-FM 高知 84.4MHz
●NHK 高知 第 1 放送 999kHz ●FM 高知 78.5MHz

メール（携帯電話／スマホ等）
緊急速報メール（エリアメール等） **登録不要**
四万十市内に所在する人の携帯電話に自動的に情報が配信されます。
※渡川水系（四万十川）については、国土交通省による洪水情報のプッシュ型配信もこの機能を使用し、配信されます。

防災行政無線・広報車 他
アナウンス（音声放送） サイレン
※防災行政無線がよく聞こえなかったときに「0880-34-7800」で「自動音声」にて確認できます。
Ｌアラート（災害情報共有システム）
災害時の避難勧告・指示など情報をテレビやラジオ放送、インターネットなどメディアを通じて提供されます。

国土交通省中村河川国道事務所
http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river-c.html

IP 告知端末（整備地域のみ） 地震・台風・豪雨・津波などの災害時緊急放送や行政放送が配信されます

インターネット（パソコン、携帯電話／スマホ）
気象庁ホームページ 全国の情報を確認できます。
http://www.jma.go.jp/jma/index.html
川の防災情報
http://www.river.go.jp/
こうち防災情報
http://kouhou.bousai.pref.kochi.lg.jp/
四万十市 公式ホームページ
http://www.city.shimanto.lg.jp/
Yahoo! 防災速報 http://emg.yahoo.co.jp/

QR コードから四万十市の防災情報を入手しましょう！
四万十市防災情報
Yahoo 防災速報アプリ
※四万十市とヤフー株式会社は、「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しています。

四万十川の洪水情報を自動的に配信するサービスを開始しました！
国土交通省では洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成 29 年 5 月より洪水情報のプッシュ型配信を開始しました。四万十川が氾濫のおそれがある場合や氾濫が発生した場合、みなさんの携帯電話に緊急速報メールが送られてきます。
※一部対応していない機種や、受信ができない場合があります。

四万十川、後川、中筋川の浸水想定区域図について
四万十川、後川、中筋川（いずれも国直轄区間）について、河道整備状況及び、中筋川ダムの洪水調整施設の状況を勘案して、水防法の規定により指定された浸水想定区域図、浸水深等を示します。
概ね 100 年に 1 回の大雨（四万十川は 600mm/2 日、中筋川は 550mm/2 日、後川は 560mm/2 日）が降ったときのことを仮定して浸水状況を算定しています。
なお、支川のはん濫、想定を超える降雨、内水によるはん濫は考慮していませんので、浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定した水深が実際の水深と異なる場合があります。

四万十市のその他のハザードマップについて
四万十市では、さらに情報を詳しく載せた総合（洪水・土砂・津波ハザードマップ）を作成し、全世帯に配布しています。ぜひ、そちらもご覧ください。

災害に対しては、以下のような日頃からの備えが重要です。自分ができる備えが何かを考え、行動しましょう。
○非常時持出品の準備
○自主防災組織や市が開催する避難訓練、防災士会が開催する学習会などへ積極的に参加

避難を判断する情報

災害の危険性 雨の強さが増す → 大雨が一層激しくなる → 危険大

気象情報〔発表者〕気象庁
大雨・洪水注意報 → 大雨・洪水警報 → 記録的短時間大雨情報（数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨） → 特別警報（数十年に一度の降雨量となる程度しか発生しないような短時間の大雨）

水位情報
洪水予報〔発表者〕国・気象庁

	後川（秋田）	中筋川（磯ノ川）	四万十川（具同）※無堤部	四万十川（具同）※有堤部	四万十川（津野川）	四万十川（川登）
はん濫危険水位	6.66m	8.11m	8.15m	10.10m	12.70m	13.60m
避難判断水位	5.67m	7.40m	7.70m	9.70m	11.90m	13.20m
はん濫注意水位	5.00m	5.50m	6.50m	6.50m	8.50m	10.40m
水防団待機水位	3.80m	3.80m	5.00m	5.00m	6.50m	8.20m

避難判断水位 → はん濫危険水位 → はん濫発生情報
※引き続き水位の上昇が見込まれる場合

土砂災害情報〔発表者〕高知県・気象庁
土砂災害警戒情報 土砂災害発生の危険性が高まった時に発表
土砂災害に警戒 / 土砂災害に厳重警戒 / 土砂災害の発生の恐れ

避難情報〔発表者〕四万十市
避難準備・高齢者等避難開始 避難の準備を開始する必要があるときに発令
避難勧告 避難を開始する必要があるときに発令
・水位が堤防の天端に達するおそれがあるとき
・堤防の決壊や越水・溢水の発生した時など
避難指示 災害発生の危険が切迫しているときに発令

住民の皆さんがとるべき行動
●避難行動要支援者や、避難行動に時間を要する人は避難行動を開始する。
●避難行動を開始する。
●避難中の方は、避難行動を直ちに完了させる。
●まだ避難していない場合は、直ちに避難する。
※高潮発生のおそれがあるときは、気象警報や潮位、台風の最接近予想時刻に注意し、避難情報を収集して、適切な行動をとる。

凡例

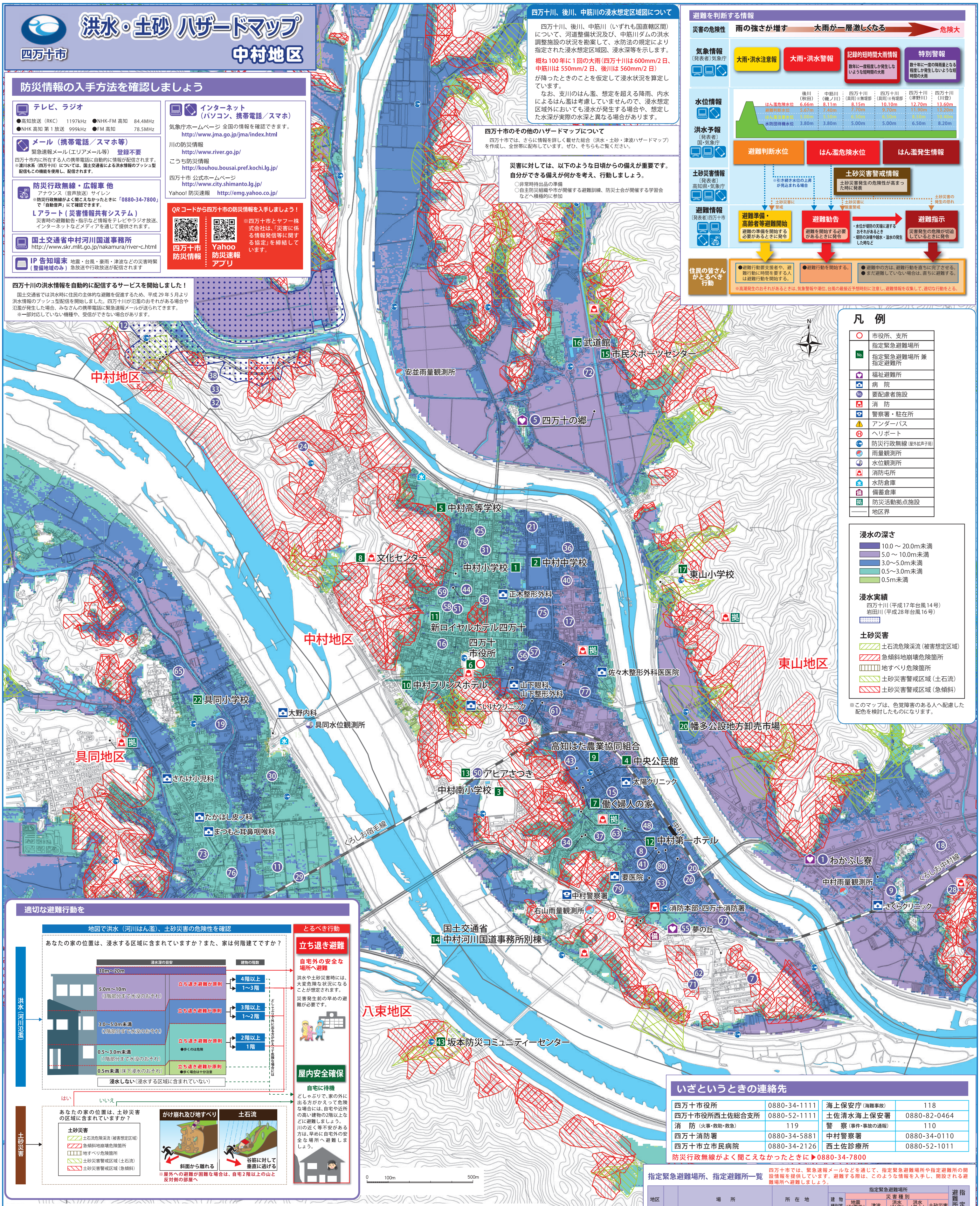
- ○ 市役所、支所
- No. 指定緊急避難場所 / 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 福祉避難所
- 病院
- No. 要配慮者施設
- 消防
- 警察署・駐在所
- ⚠ アンダーパス
- Ⓗ ヘリポート
- 防災行政無線（屋外拡声子局）
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 消防屯所
- 水 水防倉庫
- 備 備蓄倉庫
- 拠 防災活動拠点施設
- ― 地区界

浸水の深さ
- 10.0 ～ 20.0m未満
- 5.0 ～ 10.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満

浸水実績
四万十川（平成 17 年台風 14 号）
岩田川（平成 28 年台風 16 号）

土砂災害
- 土石流危険渓流（被害想定区域）
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）

※このマップは、色覚障害のある人へ配慮した配色を検討したものになります。



適切な避難行動を

地図で洪水（河川はん濫）、土砂災害の危険性を確認

洪水（河川氾濫）
あなたの家の位置は、浸水する区域に含まれていますか？また、家は何階建てですか？

浸水深の目安		建物の階数
10m～20m		
5.0m～10m（3階部分まで水没のおそれ）	立ち退き避難が原則	4階以上 1～3階
3.0～5.0m未満（2階部分まで水没のおそれ）	立ち退き避難が原則	3階以上 1～2階
0.5～3.0m未満（1階部分まで水没のおそれ）	立ち退き避難が原則 ●歩くのは危険	2階以上 1階
0.5m未満（床下浸水のおそれ）	立ち退き避難が原則 ●歩く場合は十分注意	
浸水しない（浸水する区域に含まれていない）		

どしゃぶりで外に出る方がかえって危険な場合には

はい　いいえ

土砂災害
あなたの家の位置は、土砂災害の区域に含まれていますか？
土砂災害
- 土石流危険渓流（被害想定区域）
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）

がけ崩れ及び地すべり　斜面から離れる
土石流　谷筋に対して垂直に逃げる
※屋外への避難が困難な場合は、自宅２階以上の山と反対側の部屋へ

とるべき行動
立ち退き避難
自宅外の安全な場所へ避難
洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。
災害発生前の早めの避難が必要です。

屋内安全確保
自宅に待機
どしゃぶりで、家の外に出る方がかえって危険な場合には、自宅や近所の高い建物の2階以上などに避難しましょう。
川の近く等不安がある方は、早めに自宅外の安全な場所へ避難しましょう。

いざというときの連絡先

四万十市役所	0880-34-1111	海上保安庁（海難事故）	118
四万十市役所西土佐総合支所	0880-52-1111	土佐清水海上保安署	0880-82-0464
消　防（火事・救助・救急）	119	警　察（事件・事故の通報）	110
四万十消防署	0880-34-5881	中村警察署	0880-34-0110
四万十市立市民病院	0880-34-2126	西土佐診療所	0880-52-1011

防災行政無線がよく聞こえなかったときに▶0880-34-7800

要配慮者施設一覧

No.	名　称	住　所
⑦	あゆみ生活ホーム あゆみ第一ホーム	不破 1 番地 130
⑧	共同作業所 きっと	駅前町 10 番 3 号
⑮	COMPASS 発達支援センターしまんと 相談支援事業 COMPASS サポートしまんと	右山天神町 4 番 31 号
⑯	土佐しまんと本舗	中村東下町 10 番地
⑰	共同作業所ほっとハート	中村東町 1 丁目 5 番 22 号
⑳	中村第 3 ホーム	駅前町 19 番 12 号
㉑	中村第 4 ホーム	中村東町 3 丁目 2 番 9 号
㉔	中村第 6 ホーム	中村丸の内 1832 番地 116
㉕	中村第 7 ホーム	中村本町 4 丁目 28 番地 2
㉖	中村第 8 ホーム	駅前町 19 番 22 号
㉗	中村サテライトホーム	右山 237 番地 2 第二コーポ 205 号室
㉛	のぞみ荘	中村京町 4 丁目 4 番地
㉞	こだま荘	右山元町 2 丁目 3 番 12 号
㉟	あおい荘（1）	京町 2 丁目 2 番地松岡第一ビル 201 号室
㊱	あおい荘（2）	中村東町 3 丁目 7 番 1 号　山崎アパート 2 号
㊲	あおい荘（3）	右山元町 2 丁目 4 番 32 号カーサ 2002 1 階 101 号室

No.	名　称	住　所
㊵	四万十市社会福祉協議会相談支援事業所 四万十市多目的デイケアセンター	中村東町 2 丁目 4 番 13 号
㊶	相談支援事業所ゆくり	駅前町 10 番 22 号
㊸	四万十市社会福祉センター	右山五月町 8 番 3 号
㊹	デイサービス なかむら	中村小姓町 82 番地 1
㊽	幡多病院通所介護 幡多病院	右山天神町 10 番 12 号
㊿	アピアデイサービス	右山五月町 8 番 13 号（アピアさつき内）
(51)	デイサービスセンターくろしお	中村愛宕町 28 番地
(53)	介護老人保健施設 あいさんさん	駅前町 9 番 16 号
(54)	介護老人保健施設 いろは館	不破 2050 番地 20
(55)	特別養護老人ホーム 夢の丘	右山 2041 番地 18
(56)	森下病院	中村一条通 2 丁目 44 番地
(57)	木俵病院	中村一条通 3 丁目 3 番 25 号
(58)	老人保健施設 治優園	中村愛宕町 29 番地

No.	名　称	住　所
(59)	介護療養型老人保健施設なかむら 中村病院	中村小姓町 75 番地
(60)	グループホーム　わいず 吉井病院	中村大橋通 6 丁目 7 番 5 号
(61)	グループホーム　天の川	中村大橋通 6 丁目 7 番 20 号
(62)	グループホーム　しらふじ 養護老人ホーム　白藤園 竹本病院	右山 1973 番地 2
(63)	グループホーム　かがやき	駅前町 5 番 20 号
(71)	ケアハウス　虹の丘	右山 1973 番地 6
(75)	四万十市立市民病院	中村東町 1 丁目 1 番 27 号
(77)	中村クリニック	中村大橋通 7 丁目 1 番 10 号
(78)	菊地産婦人科	中村桜町 19 番地
(79)	小原外科・肛門科・胃腸科	右山元町 3 丁目 3 番 15 号
(80)	こじま眼科	駅前町 9 番 20 号

指定緊急避難場所、指定避難所一覧

四万十市では、緊急速報メールなどを通じて、指定緊急避難場所や指定避難所の開設情報を提供しています。避難する際は、このような情報を入手し、開設される避難場所へ避難しましょう。

地区		場　所	所 在 地	指定緊急避難場所						指定避難所
				建物種別等	災害種別					
					地震（耐震性）	津波	洪水（計画）	洪水（最大）	土砂災害	
中村	1	中村小学校	中村新町3丁目20	校舎	○	○	3階以上	×	○	○
				体育館	○	○	×	×	○	
	2	中村中学校	中村東町2丁目1-30	校舎	○	○	3階以上	×	○	○
				体育館	○	○	×	×	○	
	3	中村南小学校	不破上町1949-1	校舎	○	○	○	○	2階以上	○
				体育館	○	○	○	○	○	
	4	中央公民館	右山五月町8-22		×	○	3階以上	×	○	○
	5	中村高等学校	中村丸の内24	体育館	○	○	2階以上	3階以上	2階以上	○
	6	四万十市役所	中村大橋通4丁目10	庁舎	○	○	○	2階以上	○	
	7	働く婦人の家	右山五月町8-32		×	○	×	×	○	
	8	文化センター	中村桜町2-1		×	○	2階以上	×	○	
	9	高知はた農業協同組合	右山五月町7-40		／	○	4階以上	×	○	
	10	中村プリンスホテル	中村弥生町4-1		／	○	3階以上	4階以上	○	
	11	新ロイヤルホテル四万十	中村小姓町26		／	○	3階以上	4階以上	○	
	12	中村第一ホテル	駅前町5-15		／	○	3階以上	4階以上	○	
	13	アピアさつき	右山五月町8-13		／	○	屋上	×	○	
	14	国土交通省中村河川国道事務所別棟	右山2033-14		／	○	○	○	○	

表中の解説：「○」使用可能、「×」使用不可、階数を記載している施設は以下を確認しましょう。
・津波・洪水の欄で階数を記載している施設は、浸水が想定されている区域内にあるため、記載している階以上の場所に避難場所を開設する施設です。
・土砂災害の欄で階数を記載している施設は、土砂災害警戒区域内または土石流等の危険箇所内にあるため、鉄筋コンクリート造である施設の 2 階以上の場所に避難場所を開設する施設です。
・洪水の欄で現計画とは計画規模降雨（１００年に１回程度の大雨）を指し、最大とは、想定最大規模降雨（想定される最大規模の降雨）を意味しています。
・△の施設は、耐震性はありますが、津波浸水するため、地震時には、使用できません。また、洪水の「●」の施設は、浸水の可能性が確認されていないため、周辺状況にご注意ください

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 29 情使、第 1369 号）